横濱船渠の爭議

益々紛糾す

意氣を昂むる示威運動

暫時持久戰の形となり

調停を待つ

横濱船渠會社の爭議は交渉破裂後[illegible]双方持久戰の態度[illegible]社側は飽く迄休業を宣し職工側の[illegible]つゝあり万一を慮り其の筋警戒[illegible]職工を極め居るが職工側は監視係、[illegible]係などを設け裏切職工の警戒に極力力め昨日は午前十一時頃より約一千名は國旗を先頭に鶴見地方に示威運動を開始し淺野其他の工場にビラを撒き運動を企てんとしたるを逸早く其の筋にて探知し之を禁示したるより職工團は

示威行列

を單に運動會との名目に變更したる當局も止なを得ず之を許し一千名の背黃服の職工團は勞働歌を高唱して船渠會社前より出發し神奈川方面より東進せんとしたるも神奈川署にては之を運動會と認めずと爲し所にて進行を拒みたる職工團は遂を放棄し引返して東海道を下り淺野町を經て鶴見署に至りそれより[illegible]土ケ谷に出て戸部方面に至り掃部山に登り

萬歲を叫

びて解散したるが時に午後三時半なり斯の如く職工團は意氣の沈落するを防ぎつゝあるも生活の壓迫より來る苦痛には堪へ難く內々會社に對し『早く解決して吾等を救つて呉れ』とか又『今回の事件は少數職工の屋で

一般職工の[illegible]の叫びではない早く不良分子を處分して呉れ』とか云ふ悲痛な手紙類々と舞ひ込み來る有樣に會社側も大に同情し早く

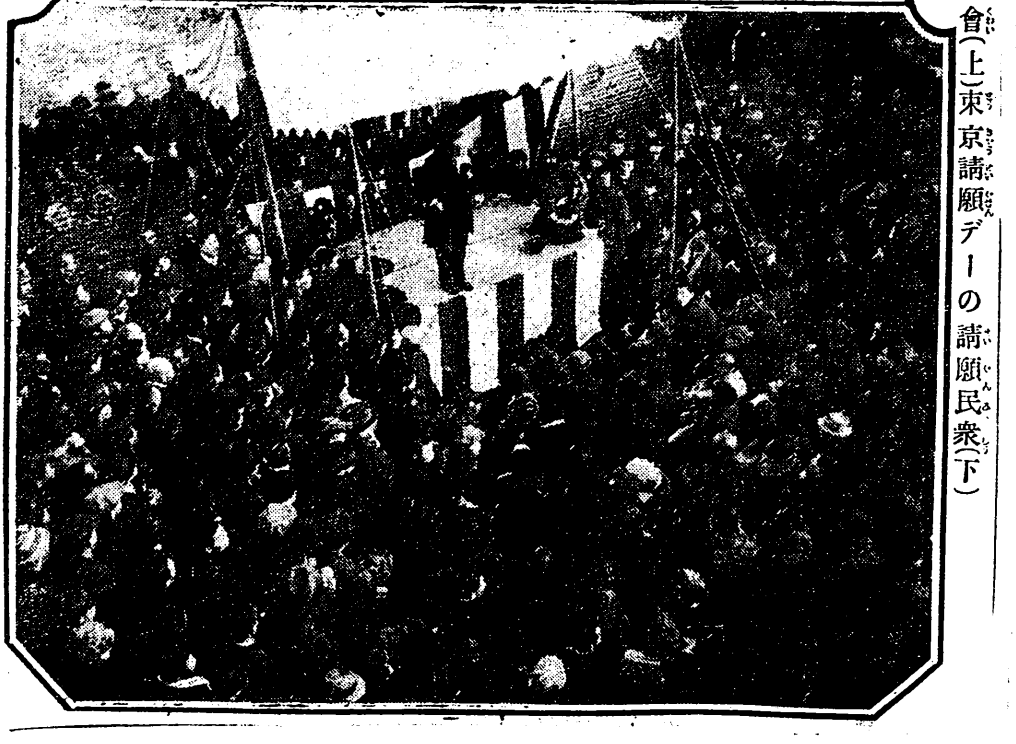
解決の期

の來るを待ち此際有力家の仲裁を希望し居れり尚極工團中の溫和なる職長高橋鶴吉外六名は午後三時市役所に陳口助役を訪ひ調停を求めたるも考究中との答に接し引き揚げたり

遺留金を拔取つた

市電の車掌

市淺間町[illegible]番地[illegible]作方居横濱市電[illegible]局車掌[illegible]は廿七日午前十時頃乘務中乘客[illegible]る[illegible]倉[illegible]大正橋[illegible]、二七[illegible]土木請負[illegible]治が電車內に遺留したる蟇口在中百一圓入りの內より廿圓拔き取り其他同人は昨年七月[illegible]少[illegible]電氣局[illegible]五十錢[illegible]券[illegible]冊及[illegible]に[illegible]現金等を拔取[illegible]居る事探知せられ取調の上[illegible]を自白したるも尚引續き取調中



松方社長問責委員報告演說會(上)東京請願デーの請願民衆(下)